

かわらばん

第2号

発行：小合地域コミュニティ協議会 電話・FAX 0250-25-2299 (小合地区コミュニティセンター)

全住民アンケート分析
「小合に住み続けたい」
約5割が回答!!



地域懇談会兼地域の活動パワーアップワークショップ
全住民アンケート結果報告&次年度活動計画案を検討しました

第14回地域懇談会を2/15に開催。自治会・町内会や学校・行政職員、小合地区ゆかりの有識者・コミ協役員など約60名も集まり、昨年秋に行った中学生以上全住民アンケートの結果報告と、小合コミ協の令和2年度活動計画案について意見交換を行いました。さまざまなデータの分析を経て、どのように活動へ反映させるか。熱く語り合った様子をお伝えします。

中学生以上全住民アンケート結果を NPO法人まちづくり学校より報告

Point

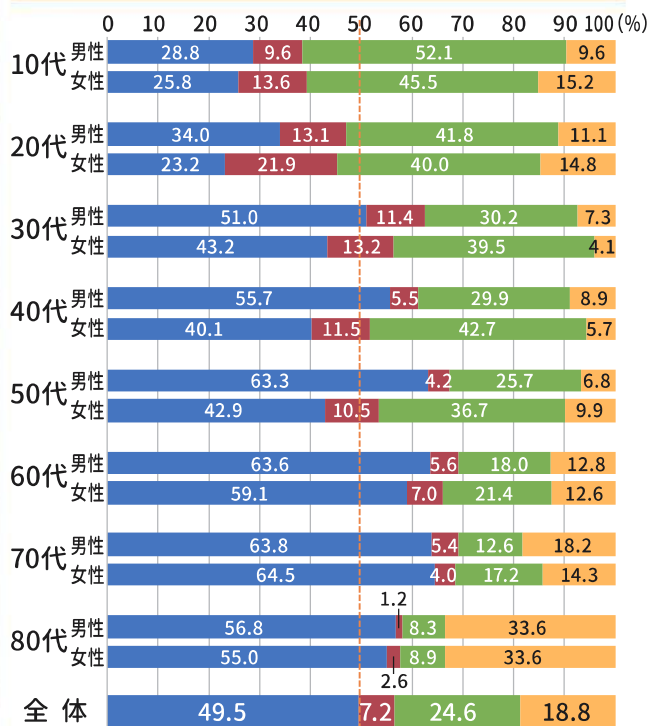
- コミ協の活動の認知度低い→
地域の良さや暮らしを支える活動の重要性をもっと伝える
- 「住み続けたい」と思う環境を整えることが
将来の可能性へつなげるのでは
- 今元気な60代、70代→
10年後、20年後を見据え、
移動手段や農地などの備えを今から!



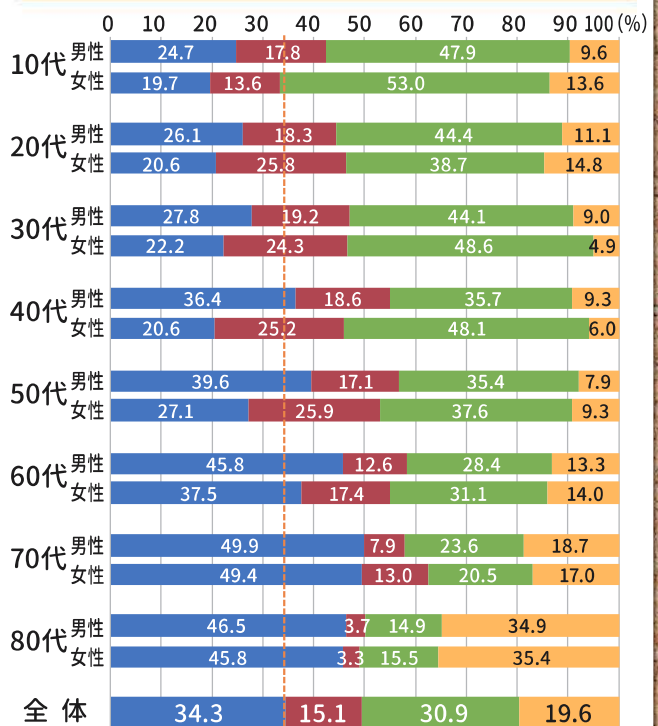
アンケートはかなり高回収率!
ご協力ありがとうございました

配布数 2,913通
回収数 2,624通
回収率 90.08%

Q13「今後も小合地域に住み続けたいか」



Q14「子どもに小合地域に住んでほしいか」



「住み続けたい」は全体の49.5%だが、「子どもに住んでほしい」は34.3%に減る。
「わからない」がこれからの地域づくりの結果で「住む」に変わる可能性あり。

凡例
■ 思う
■ 思わない
■ わからない
■ 無回答

小合中学校でも
報告会開催
(1/30)



小合コミ協役員が出向いてアンケート結果を報告。中学生から「分からないコミ協活動が多い」「SNS活用は?」と感想や質問を受けました。現在、お知らせ等は紙中心のため、今後はインターネットを使った情報配信も検討します。



裏面へ続く

表面からの続き ▶

これからの
小合を描く
ワークショップ
レポート

これからの活動計画案に掲げたのは…「住み続けたい小合を創る」

小合コミ協役員は地域懇談会より一足早く全住民アンケート結果を受け取り、役員内で分析を進めていました。コミ協が年間活動(行事や会議など)にかけている総時間と延べ人数の洗い出しも行い、町内会や自治会役員一人当たりの仕事量も数値化してみました。負担は相当大きいと実感できます。様々なデータを元に次年度コミ協活動計画案を作成しました。

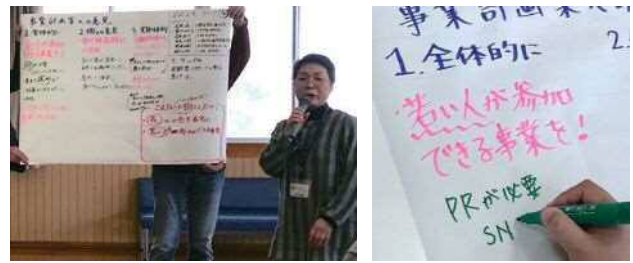
1 ふるさとの思いを込めて 令和2年度小合コミ協活動計画案を役員から説明

小合コミ協の井浦副会長から、コミ協役員内で行った住民目線のアンケート分析を報告。現在取り組み中の41事業について、「実施する～実施しない」まで4段階に区分けた次年度計画案を参加者に提示しました。



2 グループごとに意見交換・発表

アンケート結果報告の感想や、活動計画案に対する意見・アイデアなどを話し合い、発表しました。



話し合いのまとめ(抜粋・要約)

コミ協を知ってもらい、協力者を増やそう。
コミ協役員の負担感解消へ。
PR活動は紙とSNSを併用で!!

「小合子どもまつり」が「検討」になっているがやってほしい!
子どもが参加すれば親も来るよ!

アンケート結果をもとに
20代～40代の親世代と
子どもが必要なものを地域の力で。

人口を多くすることが
絶対条件。
宅地造成をすすめて
移住者を増やす。

産業振興が大切。
花で人が来る取組を。
空いている土地を利用する。
花の小合を有名に!

義務感での参加が多い。
楽しくなければ参加意欲は湧かない。
外部(女性)の意見が入りにくい。

地域の安全・安心を
保つための事業を
最優先させる。

参加者のふりかえり(抜粋・要約)

学んだこと・良かったこと・残念だったことなど

コミ協の認知度が
低いことに驚いた。
コミ協活動に参加しても
良い人が3割いる

小合は
“花”がやはり、
最高のブランドです

無駄は減らした方がよいが、
似たような行事をまとめたりして、
充実したものにすることは
可能だと思う。

事業のコラボ化
よいと思います

大勢でこれからの小合を考えることがよかったの
もっと女性や若い人も参加できればよかったの
やはり女性の力が必要!!

小合の問題をみんなが認識している。
解決に向けて「良くしたい」気持ちは
一緒だということ。
「日本一のある地域」であること

今回のワークショップで出された多くのご意見・アイデアを参考に、より良い小合コミ協の活動に反映させていきます。今後ともご理解・ご参加いただけますようよろしくお願いいたします。尚、小合コミ協モデル事業の取組みは、後日、新潟市のホームページで紹介される予定です。

